

チョークで書いて消せる「コクバンカー」を運用開始

11月3日デビュー 子どもたちの落書きが香川県を駆け回ります

黒板の製造販売、教育環境整備を行う(株)いわま黒板製作所(善通寺市与北町1131 代表取締役社長/角野幸治)は、黒板をより身近に感じてもらうため、軽バンに黒板の塗装をした「コクバンカー」を制作。地域のイベント会場などで子どもたちにチョークで自由に描いてもらった絵や落書きが各地を走ります。

車体に黒板加工を施した自動車は珍しく、西日本では初となります(当社調べ)。

■落書きを通して創造力・企画力を育む

子どもたちにとって、学校の黒板は身近な存在でありながら、先生が使用するもので、自由にお絵描きする機会はめったにありません。自由な発想で思い切り絵を描いてほしい、黒板を身近に感じてほしいと考え、善通寺市内のイベントなどで落書き黒板を設置したところ、毎回子どもたちに大好評でした。

そこで、「車体をそのまま黒板にすればどこにでも運べて、一度にたくさん子どもたちに楽しんでもらえると考え、「コクバンカー」を企画しました。地域の多くの人が集まるイベント会場などに乗り入れ、子どもも親御さんも一緒に楽しめる機会を増やしていく計画です。

「車×落書き」という”禁断”の楽しみを堪能し、その車が町中を走ることで、ささやかながらも「制作者」としての充足感が刺激されます。それは子供たちの創造力や企画力、アート感覚を育み、ひいては当社の地域貢献にもつながるのではないかと期待しています。



■コクバンカーデビューは11月3日

11月3日(文化の日)にサンメッセ香川(高松市)で行われる「ママ∞フェスタ」(NPO法人わははネット主催)でコクバンカーが初お目見えします。今後、地域のイベントに積極的に参加し、たくさんの方々にコクバンカーに触れてもらいたいと考えています。

またコクバンカーは、日常は当社の営業車として使用します。行く先々でも時間があれば落書きしていただき、SNSに投稿していただくなど、「ミライノガッコウカンパニー」のPRに一役買ってくれるものと期待しています。

■黒板カーのポイント

- 軽四バンのボディ四面ともに通常の黒板用チョークで書くことができる。
- 簡単に書き消しができるため、小さな子どもたちにも使いやすい。
- 未就学の子どもたちも黒板にふれることで、教室の雰囲気を感じてもらえる。
- 子どもたちと一緒に親御さんも童心に戻って落書きできる。
- 軽四自動車なので場所を選ばず、イベント会場などに設置しやすい。

■そのほかの活用方法(案)

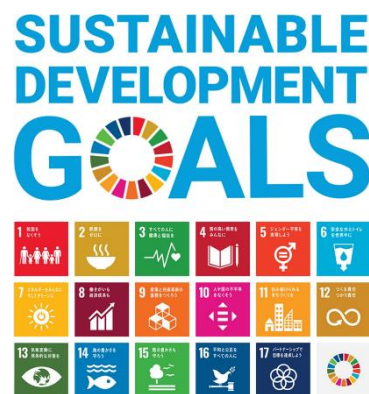
- 黒板アート体験のワークショップなどの実施
- 移動販売車としての利用
- 企業・店舗に貸し出して車体に広告を描き、「動く広告メディア」としての利用



■SDGsの取り組みの一環として

当社では、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGS」の考え方を企業活動に取り入れ、社会課題の解決への貢献を宣言しています。

当社はSDGsにつながる取り組みのひとつとして「地域と共に発展する」というテーマを掲げています。「コクバンカー」は、いつでもどこでも教育の場を提供することで、当社の取り組み「地域と共に『ミライノガッコウ』を創造する」ことにつながると考えています。



お問合せ先 いわま黒板製作所

TEL 0877-62-1631

FAX 0877-62-6021

担当／^{すみのこうじ}角野幸治

Email iwama@lime.ocn.ne.jp

【会社概要】本社:〒765-0040 香川県善通寺市与北町 1131／
事務所:岡山・福岡／創業:1936 年／創立:1955 年／資本金:
1,000 万円／従業員数:約 20 名／事業内容:黒板、ホワイトボー
ドほか教育施設の設備・備品一式の製造・販売・施工

